

5 ～ 11 歳対象

ファイザー製ワクチン緊急時使用許可に関する指針

2021 年 10 月 29 日、ファイザーと BioNTech は、5 ～ 11 歳対象の新型コロナウイルスワクチン緊急使用許可 (EUA) を食品医薬品局 (FDA) から受け、疾病管理センター長はその使用を正式に認めました。

- これは当団体の公平なワクチン供給を求める活動にとっても重要な出来事ではありますが、5 ～ 11 歳の子どもがいる親のうち、自分の子どもに「すぐに」ワクチン接種させるつもりという親は 25% をやや超える割合しかいません。11 月 15 日現在 [364 万人](#) を超える 12 歳未満の子どもが新型コロナウイルスワクチンを 1 回投与されています。(出典：米国疾病管理予防センター (CDC))
- FDA は、厳格な試験と審査の後、5 ～ 11 歳の子どもへのファイザー - BioNTech ワクチンの使用を承認し、CDC はその使用を推奨しています。FDA ならびに CDC は、試験の圧倒的に良好な結果に基づいてワクチンが安全かつ有効であると宣言しました。
- 数億回分の用量が成人および 11 歳を超える 10 代に接種されましたが、これまでにファイザー社製ワクチンによる [長期的な副作用例は認められていません](#)。このワクチンが成人にとって安全で効果的であることは知られていましたが、子どもたちにも同様だということが分かり、一安心できました。(出典：米国疾病管理予防センター (CDC))

よくある質問

- [どこで、どのように子どもにワクチン接種を受けさせることができますか？](#)
 - ワクチンは、多くの小児科医および家庭医の医院、地域の保健局、コミュニティ医療センター、薬局、校内医療施設で接種できます。一部の地域では、農村医療施設、ネイティブハワイアン医療センター、連邦政府認定の医療センターで利用できることもあります。学校によっては、生徒の家族用のワクチンも用意されている場合があります。ワクチンに対する関心の高まりを受けて、医療関係者が対応体制を用意していますので、みなさん一人ひとりに忍耐強く待っていただくようお願いしたいと思います。接種会場については、かかりつけ医、[Vaccines.gov](#)、地域の保健局にお問い合わせください。

2

- 子ども用ワクチンと大人用ワクチンの違いは何ですか？
 - 5歳から11歳までの小児に対するワクチンは、それより上の10代と成人に投与される用量の3分の1です。この用量は、5～11歳の小児の免疫系の安全性と有効性のバランスをとるために選択されました。ワクチンは体重ではなく免疫系の年齢により用量が決められます。（[出典：米国疾病管理予防センター（CDC）](#)）
- 新型コロナウイルスワクチンは子どもの将来の生殖能力に影響を与えますか？
 - いいえ。新型コロナウイルスワクチンを含め、ワクチンの副作用として生殖能力の問題があるという[エビデンスはありません](#)。The American College of Obstetrics（米国産婦人科大学）と米国生殖医学会（生殖能力の専門家）は、いずれも新型コロナウイルスワクチンを接種することを強く推奨しています。（[出典：ACOG](#)）
- 子どもは新型コロナウイルスワクチンを他のワクチンと同時に接種してもいいのでしょうか？
 - はい。CDCおよび米国小児学会によると、小児期の定期予防接種とインフルエンザ予防接種は、新型コロナウイルスワクチンと同時に安全に行うことができます。（[出典：米国疾病管理予防センター（CDC）](#)）
- 子どもに対するワクチンの長期的影響はどのようなものですか？ワクチンが安全であることをどのように確認できますか？
 - 他のワクチンと同様に、このワクチンは腕の痛みや発熱など短期的な副作用をもたらすとされています。数億人の成人にワクチンを投与してから1年近く経ちましたが、長期的な副作用は見られませんでした。また、接種を受けた子どもは新型コロナウイルス感染から予防されますが、それと並行して長期的な影響が生じることは予想されません。（[出典：米国疾病管理予防センター（CDC）](#)）

3

- 子どもに予防接種を行うことのメリットはリスクを上回りますか？
 - はい。米小児学会は、ワクチンに対する重度のアレルギー反応を示さない5歳以上のすべての小児に対して新型コロナウイルスワクチンを推奨しています。心筋炎として知られる、非常にまれな心臓炎症については、医師と科学者からなる独立した研究グループが慎重にデータを検討した結果、新型コロナウイルスワクチンに関連するリスクは小児が新型コロナウイルスに感染するリスクよりもはるかに低いという認識で一致しました。また、同グループは、総合的な新型コロナウイルスへの感染リスクは、ワクチンの副作用の可能性よりも大きいという点でも見解が一致しました。（[出典：米国疾病管理予防センター（CDC）](#)）

This publication was made possible by cooperative agreement CDC-RFA-IP21-2106 from the Centers for Disease Control and Prevention of the U.S. Department of Health and Human Services (HHS). Its contents are solely the responsibility of the authors and do not necessarily represent the official views of CDC/HHS.

ご家族を新型コロナウイルスから守るための資料や情報が揃っている
apiahf.org および madetosave.org をご覧ください。